

災害時の業務継続計画 (BCP) の策定を急げ

市長 / 早急に取り組む



桑原 幸治 議員

防災計画について

桑原議員 災害時に行政が機能不全に陥る恐れがある。業務継続計画の策定を急げ。

松本市長 災害発生時の応急業務の優先順位などを検討し、業務が継続できるような努める必要がある。早急に策定する。

桑原議員 防災無線・戸別受信機の設置は。

松本市長 一日も早く運用開始できるように努める。

桑原議員 自力で避難で

きない人たちの対策は。**福祉保健部長** 登録を受け付けているが、個別の避難行動計画はまだない。本市の福祉の一番の課題である。

子どもの貧困について

桑原議員 子どもの将来

が、生まれ育った環境によって左右されないように、また貧困が世代を超えて連鎖することがないように、そして全ての子どもたちが夢と希望を持って成長して行けるようにすることは行政の責任である。しかし貧困と格差が広がり、子どもにとってきびしくなっているのが現実である。市長の認識は。

松本市長 子どもの貧困対策は重要だ。県や関係機関と連携し、環境整備と支援に取り組んでいく。

桑原議員 本市の子どもの貧困状況は。

福祉保健部長 全国的には子どもの貧困率は16・3%となっている。

本市でも実態調査に向けた検討を進めていく。

就学援助制度について

桑原議員 制度の利用率が県下最低に近い。その対策は。

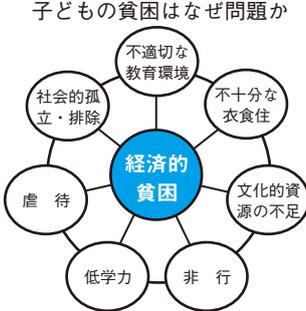
教育次長 さらに周知に努める。児童扶養手当を受給されている世帯は収入の基準を撤廃した。

今年度から世帯の収入基準を生活保護基準の1・2倍から1・3倍へと認定基準を緩和した。また、経済的に大変な家庭については申請を促している。

桑原議員 新入学用品費用は2月・3月に支給すべき。国の通知もそのようになっている。

教育次長 教育長の指示もあっており、検討する。

子どもの貧困はなぜ問題か



議会ミニミニ通信

鹿児島県与論町

鹿児島県与論町議会環境経済建設委員会の方々が平成28年5月10日に行政視察に訪れました。

視察内容は①特産品の取組(現状及び開発、ふるさと納税等)②観光振興の取組(誘客増対策、農林漁業体験民泊事業等)③施設見学(口之津歴史民俗資料館、トレッキンコース(九州オルレ)等)の3項目でした。与論町と南島原市は姉妹都市協定を平成25年11月に結んでいることもあ

佐賀県神埼市

り、視察後は懇親会も行われ親睦を深めました。

佐賀県神埼市

平成28年7月11日、佐賀県神埼市議会の産業建設常任委員会の方々が行政視察のため訪れました。視察内容は「農林漁業体験民泊について」でした。視察では体験民泊の取り組みに至った経緯、体験民泊の一連の流れ、効果と今後の取り組み計画・目標などについて、活発な質疑応答が行われました。

与論町・神埼市の議員が南島原市を訪れました



与論町議会視察研修の様子



神埼市議会視察研修の様子